

球磨川通信

創刊にあたり

このたび、国土交通省 八代河川国道事務所 人吉出張所では、「地域と共に歩む球磨川」を目指し、球磨川や地域に関する情報共有、意見交換を図るためのツールとして情報誌『球磨川通信』を発行することにいたしました。

人吉出張所は、球磨川の維持管理や工事の監督、川に関する相談窓口などの業務を行っており、管理している区間は、球磨村、人吉市、錦町、あさぎり町、多良木町、湯前町、水上村の球磨川本川と、川辺川の合流部から柳瀬橋までの区間です。

『球磨川通信』は、事業紹介の他に、イベントや川辺の風景など地域に密着した情報をお届けしようと思っております。隔月に1回のペースで発行する予定です。

よろしく願います。

球磨村渡地区 浸水被害軽減対策の紹介

八代河川国道事務所では、球磨村渡地区における浸水被害軽減対策として工事を進めておりますが、「渡導流堤」が3月末に完成し、また「舟戸排水施設(ポンプ)」が6月に運用開始となりましたのでご紹介します。

なお、他にも渡地区2箇所において排水施設の工事を進めており、合計3箇所の早期運用開始を目指しています。

「渡導流堤」

洪水の際、支流(小川)の流れを導き、本流(球磨川)との合流をスムーズにすることで、支流の水位を低下させる効果があります。



「舟戸排水施設(ポンプ)」

排水能力 毎秒0.5トン



導流堤の工事を行った、三和(ミツワ)建設より

『現場責任者より』

当現場の責任者でした、三和(ミツワ)建設の芋園(オゾノ)と元田(モトダ)です。

この工事では、地域の方々に工事の方法・進捗状況を理解していただくために、毎月工事だよりを配布してコミュニケーションを図りました。また、堤防上で散歩・ジョギング・歩行運動をされる方からは毎回のようにより暖かいお言葉お頂き、工事がスムーズに完了したことに感謝申し上げます。

【現場における主な取組み】

渡小学校による社会見学会の実施(低学年・高学年の2回)

低学年→紙芝居による導流堤の必要性を説明しました。

高学年→防災に係わる土木施設の重要性について説明しました。



鮎釣りされる方への工事案内

管内の釣り具及びおとり鮎取扱店の全てに、工事概要や現場周辺の立入禁止区域を明示したパンフレットを配布しました。



地域住民への工事だより配布

毎月工事だよりを地域へ配布して、工事の進捗状況や工事の方法を理解してもらえるように広報活動を行いました。



【地域への貢献】

地元の建設産業は、公共事業のほかにも様々な形で地域社会へ貢献する取り組みを行っています。

防災サイエンスショーの開催

防災におけるソフト(準備、避難行動)の大切さをつたえるため、東日本大震災体験談を交え講演会を開催しました。



球磨川清掃リレーの実施

ゴミのポイ捨て防止対策として、八代河川国道事務所主催の球磨川清掃リレーに参加しています。



各地における地域貢献活動の実施

毎年、各林道・国道・河川の清掃活動を行っています。

